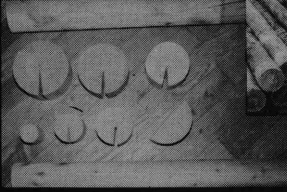


円柱材の魅力



円柱材とは

最近、円柱材が脚光を浴びていますが、なぜでしょうか。その秘密を探ってみましょう。

まず、丸太を原形に近い円筒状に削るのですから、捨てられる部分は角材などへの加工より当然少なくなります。また、表面のささくれが少なく、感触が良くなります。これによって、木独特の感

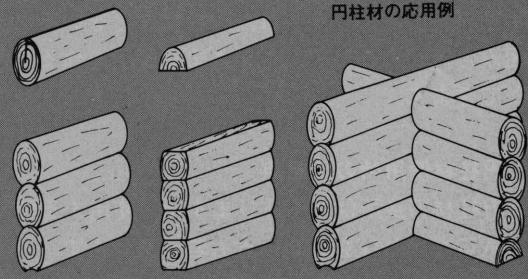
触の良さが倍加され、さらに、金属などがない暖かさが強調されてきます。

円柱材の利点の1つに、小径材が利用できる、ということがあります。ちなみに、当場の円柱材製造機では、5～14cmの円柱材を製造することが可能です。これらの径のものは、間伐材などで得られるもので、木材資源の有効利用及び森林の健

全育成にも一役買うことになるでしょう。同時に、円柱材製造機を使うことにより、直径が均一な円柱材を大量に、しかも容易に製造できます。形が単純なので、経験のない人でも簡単に、円柱材を取り扱うことができます。例えば、日曜大工でこれらを組み合わせて「何か作ってみよう」ということも可能です。

円柱材の応用

円柱材を利用する場合、積み上げて使うことが多いと思います。しかし、円柱材は丸いため、そのまま積み重ねることはできません。そのため、いくつかの加工を必要とします。例えば、一面を丸く欠きこんだり、タイコ落としにしたりすることがよく行われています。デザイン的に見れば、



半割材や欠きこみを入れた円柱材などをいろいろ組み合わせることで、さまざまな製品を作ることができます。

円柱材使用時の注意点

円柱材の長所は多くありますが、使用する際に注意しなければならない点も若干あります。

木材を乾燥した際に生じる曲がり、ねじれ、そり、割れなどの現象は円柱材にも見られます。ねじれ、曲がりの程度は小さいとは言えませんが、円柱材のねじれは外見上問題になりません。しかし、積み重ねるような場合には問題となります。そのため、乾燥済みの原木又は角材を円柱加工するか、あるいは生材の円柱材を鉄筋とボルトで強

く締めつけて組み立て施工し、変形を拘束する必要があります。

乾燥による割れは、避けることができません。そこで、前もって背割り（のこ目）を入れることでかなり割れを小さくすることができます。また、生材をそのまま放置すると、カビが生えたり、変色したりすることがあります。それで加工後に防

ばい剤や木材保護剤を塗布又は浸せきさせることを忘れないで下さい。

円柱材を使ってみませんか

林産試験場の試算によるカラマツ円柱材（長さ3.65m、直径10cm）の価格は約1,900円で、長さ3.65m・10.5cm角のカラマツ製材の約1,450円に

対し少々割高です。用途の違う角材や平割材と、円柱材とは比較にはならないと思いますが、円柱材の長所を生かす使い方をすれば、決して高いものではないでしょう。

木材は、やはり大径木に真の利点が見出せる訳ですから、小径の円柱材の製造には、間伐材などを利用する、という割り切った考え方が必要でし

よう。

円柱材の用途は、未開発の分野が多く、いろいろ使い方を考えることは楽しいことです。あなたも、少し発想の転換をはかって、円柱材を使ってみませんか。

(林産試験場 石井 誠)